

参加
無料

定員500名
(先着順)

ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点

京都大学医生物学研究所

第17回 公開講演会

コロナを超えて：医生研の闘い

コロナ禍の3年間で、人類はウイルスの怖さと体を守る免疫の大事さを再認識しました。敵と闘うには、まずは敵の戦略をよく知ることが肝要です。一方で免疫は、時に自分の体を攻撃してしまいます。講演では、ウイルス感染の仕組みと、自己に対する免疫反応の仕組みの解明に取り組む話をお届けします。

「原子の世界で
ウイルスを視る、制御する」



橋口 隆生
(医生物学研究所 教授)

「免疫細胞が攻撃する
“自己”」



伊藤 能永
(医生物学研究所 教授)

2023年

7月29日(土)

14:00~16:10

(開場 13:30)

会場

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点
京都大学医生物学研究所
第17回 公開講演会
コロナを超えて：医生研の闘い

2023年 **7月29日(土)**
14:00～16:10
(開場 13:30)

会場

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

プログラム

司会 新宅 博文 (医生物学研究所 教授)

14:00～
14:05

開会挨拶

河本 宏 (医生物学研究所長)

14:05～
15:05

「原子の世界でウイルスを視る、制御する」

橋口 隆生 (医生物学研究所 教授)

ウイルスは光学顕微鏡を使っても見えませんが、特殊な装置と技術で可視化することが出来ます。ウイルスを原子レベルで可視化することで理解できる、ウイルスがヒトに感染するメカニズムとウイルスを制御する方法についてお話しします。



15:10～
16:10

「免疫細胞が攻撃する“自己”」

伊藤 能永 (医生物学研究所 教授)

免疫系は本来、病原体の排除に働きます。しかし時に自己組織を攻撃して病気を起こすことがあります。自己由来の組織を攻撃する場合でも、対象ががん細胞であれば、それは有益な反応になります。“自己”を攻撃する免疫反応としての自己免疫疾患、がん免疫について紹介します。



定員 500名 (参加無料)

申込方法

事前申込制・申込先着順

参加ご希望の方は、下記URLもしくは右記QRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/18zgaED6Eseuhggu6>



申込締切

2023年7月27日 (木)

※参加者の皆様の情報を適切に保護し、本講演会の開催・受付目的以外には使用いたしません。

表面のデザインについて：免疫細胞が、ウイルスや自己組織、がん細胞に対する攻撃を行なっている様子をイメージしたものです。